



2025年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エニグモ

コード番号 3665

URL <https://enigmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者

(氏名) 須田 将啓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

(氏名) 金田 洋一

TEL (03) 6894-3665

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第3四半期の連結業績（2024年2月1日～2024年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年1月期第3四半期 | 3,916 | — | 289 | — | 229 | — | 146 | — |
| 2024年1月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2025年1月期第3四半期 1,062百万円 (—%) 2024年1月期第3四半期 ー百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年1月期第3四半期 | 3.70 | — |
| 2024年1月期第3四半期 | — | — |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 2025年1月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年1月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年1月期第3四半期 | 13,578 | 10,940 | 80.2 |
| 2024年1月期 | — | — | — |

(参考) 自己資本 2025年1月期第3四半期 10,890百万円 2024年1月期 ー百万円

(注) 2025年1月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2024年1月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年1月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2025年1月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年1月期（予想） | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年12月13日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,707 | — | 538 | — | 535 | — | 334 | — | 8.42 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）当社は、2025年1月期中間期より連結決算に移行いたしました。2024年1月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規1社（社名）株式会社BUYMA TRAVEL、除外1社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2025年1月期3Q | 42,642,000株 | 2024年1月期 | 42,642,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年1月期3Q | 2,969,400株 | 2024年1月期 | 2,969,340株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2025年1月期3Q | 39,672,639株 | 2024年1月期3Q | 39,680,562株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、当該資料の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

また、決算補足説明資料につきましては、2024年12月13日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 4 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 4 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 5 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 8 |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (連結範囲の重要な変更) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記) | 11 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報等の注記) | 12 |
| (企業結合等関係) | 13 |
| (収益認識関係) | 13 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

当社は、株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）の株式を追加取得し、連結の範囲に含めたため中間連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

（1）経営成績に関する説明

当社グループは「世界を変える、新しい流れを。」というミッションの下、インターネットを通じて、法人・個人の垣根を壊し、誰もが多様な専門性を生かすことで今まで存在しなかった新しい価値を創造する、“Specialty” Marketplace（スペシャルティマーケットプレイス）「BUYMA（バイマ）」及び「BUYMA TRAVEL（バイマトラベル）」を中心とした事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間（2024年2月1日～2024年10月31日）における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻や中東ガザ地区における紛争の長期化、欧米・中国経済の先行き不安、また世界的なインフレに伴う政策金利の引上げ等により、下振れリスクを伴った不透明な状況が続いております。日本経済においては、金融・財政等の各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善による内需の回復が経済成長を支える重要な鍵となっているものの、資源・原材料・エネルギー価格の高騰と、歴史的な円安を背景とした物価の高騰が消費者動向に与える影響は大きく、景気の先行きは楽観できない状況が依然として続いております。

このような環境の中、当社グループは基幹事業である“Specialty” Marketplace「BUYMA」及び「BUYMA TRAVEL」において、サービスの本質的強化に向けた中長期的な取り組みを積極的に進め、情報の非対称性を失くし、感動するプラットフォームをより多くの人々へ提供できるよう、サービスを拡充しております。

また、不動産事業への参入に続き、新規事業として転職支援サービス「Q転職」をローンチし、中長期的な新収益創出プロセスを着実に進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,916,190千円、営業利益は289,476千円、経常利益は229,318千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は146,993千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ソーシャルコマース事業」の単一セグメントから、「FashionPlatform事業」、「TravelPlatform事業」の2区分に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記） 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

（FashionPlatform事業）

FashionPlatform事業は、主として「BUYMA」の運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるBUYMAを取り巻く環境は、歴史的な円安進行による為替影響と海外でのインフレによる物価上昇の影響を受け、厳しい状況が続いており、当第3四半期連結累計期間の総取扱高は苦戦が続いているものの、鑑定機能向上による安心・安全対策強化に加え、オリジナルセール“BUYMA BIG DEAL DAYS”の定着、Buyeeとの連携による海外市場へのサービス提供再開、ハイファッションを特別価格で提供する「BUYMA BEDIT」のリリース、BUYMAイベントスペース「BUYMA studio」とパーソナルショッパーによる企画イベントの開催、ラグジュアリーヴィンテージマーケット「BUYMA VINTAGE」の本格リリースによる幅広い顧客需要獲得、AMEX×BUYMAコンシェルジュによる優良顧客獲得促進等、中長期的な成長に不可欠な施策を順次進めており、オウンドメディアである「STYLE HAUS（スタイルハウス）」やデジタルメディア（YouTube、Instagram、X（旧Twitter）等）と連動企画の展開等による良質な認知の獲得も進み、第2四半期以降、徐々に回復に向かってきております。また、コスト効率性を重視した事業運営による徹底したコストコントロールによる収益確保も継続して取り組んでおります。

以上の結果、FashionPlatform事業における会員数は11,343,478人（前年同期比5.2%増（GLOBAL BUYMAを除く））、商品総取扱高は35,690,135千円（前年同期比10.6%減）となり、売上高は3,767,512千円、セグメント利益は874,198千円となりました。

（TravelPlatform事業）

TravelPlatform事業は、主として「BUYMA TRAVEL」の運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間におけるBUYMA TRAVELを取り巻く環境は、海外旅行需要の回復を追い風に引き続き高成長を維持しており、2024年5月に連結子会社化した株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUから商号変更）へ、2024年8月1日を効力発生日として吸収分割による事業承継を行い、当社グループの新たな収益の柱としての旅行事業の成長に向け、BUYMA TRAVELだけが提供できる高品質なプライベートガイドサービスに、アクティビティ、ホテル、レストラン予約等を連携し、ユーザーの多様なニーズの取り込みに向け、積極的に事業

戦略を進めております。

以上の結果、売上高は148,678千円、セグメント損失は88,110千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産合計

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、13,578,102千円となりました。主な内訳は、現金及び預金9,077,187千円、投資有価証券3,227,927千円、売掛金249,289千円、のれん209,696千円であります。

② 負債合計

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,637,348千円となりました。主な内訳は、預り金1,666,731千円、未払金328,452千円、繰延税金負債313,945千円、短期借入金200,000千円であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、10,940,754千円となりました。主な内訳は、資本金381,903千円、資本剰余金389,055千円、利益剰余金10,663,812千円、その他有価証券評価差額金965,974千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、確かな価値に基づく高い成長の実現のため、当社の強みである強固な財務基盤と安定した収益基盤を生かし、複数の事業を運営するエニグモグループの形成と、2027年1月期の売上高100億円達成をターゲットとする中期目標を設定しております。既存事業の経営効率を高めることで一定の営業利益規模を確保しつつ、中期目標達成に向け新収益の柱を複数構築すべく、長期視点での投資を事業環境や事業進捗に応じ機動的かつ柔軟に進めております。2025年1月期第2四半期より株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUから商号変更）が当社の連結子会社となったことに伴い、当社は連結決算へ移行し、2024年6月30日をみなし取得日として連結を行っております。本件による当社グループの当期の業績に与える影響について精査をおこない、2024年9月13日に、2025年1月期における連結業績予想を公表しておりますが、当該連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第3四半期連結会計期間 (2024年10月31日) | |
|-------------------------------|------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | |
| 現金及び預金 | 9,077,187 |
| 売掛金 | 249,289 |
| 有価証券 | 100,330 |
| 商品 | 1,677 |
| 貯蔵品 | 29,031 |
| 前払費用 | 105,803 |
| 未収入金 | 108,028 |
| 未収消費税等 | 13,415 |
| その他 | 86,825 |
| 流動資産合計 | 9,771,588 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 建物（純額） | 12,713 |
| 建物附属設備（純額） | 28,771 |
| 船舶（純額） | 33,709 |
| 車両運搬具（純額） | 23,282 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 54,767 |
| その他（純額） | 3,222 |
| 有形固定資産合計 | 156,466 |
| 無形固定資産 | |
| ソフトウェア | 45,545 |
| ソフトウェア仮勘定 | 11,100 |
| のれん | 209,696 |
| その他 | 18 |
| 無形固定資産合計 | 266,361 |
| 投資その他の資産 | |
| 投資有価証券 | 3,227,927 |
| 関係会社株式 | 19,392 |
| 敷金及び保証金 | 103,311 |
| 繰延税金資産 | 9,270 |
| その他 | 23,783 |
| 投資その他の資産合計 | 3,383,686 |
| 固定資産合計 | 3,806,513 |
| 資産合計 | 13,578,102 |

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年10月31日)

| | |
|---------------|------------|
| 負債の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払金 | 328,452 |
| 未払費用 | 4,276 |
| 未払法人税等 | 5,964 |
| 預り金 | 1,666,731 |
| 短期借入金 | 200,000 |
| ポイント引当金 | 8,294 |
| 賞与引当金 | 53,552 |
| その他 | 34,024 |
| 流動負債合計 | 2,301,296 |
| 固定負債 | |
| 長期借入金 | 9,355 |
| 資産除去債務 | 12,751 |
| 繰延税金負債 | 313,945 |
| 固定負債合計 | 336,051 |
| 負債合計 | 2,637,348 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | |
| 資本金 | 381,903 |
| 資本剰余金 | 389,055 |
| 利益剰余金 | 10,663,812 |
| 自己株式 | △1,506,980 |
| 株主資本合計 | 9,927,790 |
| その他の包括利益累計額 | |
| その他有価証券評価差額金 | 965,974 |
| 為替換算調整勘定 | △2,933 |
| その他の包括利益累計額合計 | 963,041 |
| 新株予約権 | 41,961 |
| 非支配株主持分 | 7,961 |
| 純資産合計 | 10,940,754 |
| 負債純資産合計 | 13,578,102 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日) |
|---------------------|--|
| 売上高 | 3,916,190 |
| 売上原価 | 833,574 |
| 売上総利益 | 3,082,616 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,793,140 |
| 営業利益 | 289,476 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,941 |
| その他 | 4,378 |
| 営業外収益合計 | 6,319 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 867 |
| 為替差損 | 26,577 |
| 持分法による投資損失 | 36,353 |
| 投資事業組合運用損 | 1,782 |
| 雑損失 | 896 |
| 営業外費用合計 | 66,477 |
| 経常利益 | 229,318 |
| 特別利益 | |
| 段階取得に係る差益 | 2,847 |
| 固定資産売却益 | 239 |
| 投資有価証券売却益 | ※1 139,370 |
| 特別利益合計 | 142,457 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 19 |
| ソフトウェア除却損 | 51 |
| 減損損失 | ※2 29,965 |
| 投資有価証券評価損 | ※3 99,999 |
| 特別損失合計 | 130,036 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 241,738 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 160,207 |
| 法人税等調整額 | △48,840 |
| 法人税等合計 | 111,366 |
| 四半期純利益 | 130,371 |
| (内訳) | |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △16,621 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 146,993 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 935,182 |
| 為替換算調整勘定 | △2,933 |
| その他の包括利益合計 | 932,249 |
| 四半期包括利益 | 1,062,621 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,079,242 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △16,621 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

連結の範囲の重要な変更

中間連結会計期間より、株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）の株式を取得したことにより、同社及び同社の子会社、孫会社4社を連結の範囲に含めております。なお、2024年6月30日をみなし取得日としており、中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、中間連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

| | |
|----------|---|
| 連結子会社の数 | 4社 |
| 連結子会社の名称 | 株式会社BUYMA TRAVEL (2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更) MMS Guam Corporation MMS Activity Corporation Sea Eagle Diving Adventures, Corporation |

MMS Guam Corporation、MMS Activity Corporationは株式会社BUYMA TRAVELの完全子会社、Sea Eagle Diving Adventure Corporationは株式会社BUYMA TRAVELの孫会社であります。

2. 持分法の適用に関する事項

| | |
|------------------|----------|
| 持分法を適用した関連会社 | 1社 |
| 持分法を適用した関連会社の名称等 | 株式会社ゲツラク |

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

株式会社BUYMA TRAVEL他4社の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成に当たり、上記の連結子会社は決算日の差異が3ヶ月を超えないため、当該子会社の正規の決算を基礎として連結決算を行っております。

なお、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法により評価しております。

②その他有価証券

(ア) 市場価格のない株式等以外のもの

時価法により評価しております。なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。

(イ) 市場価格のない株式等

移動平均法による原価法により評価しております。

なお、投資事業有限責任組合への出資については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

(2) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

時価法によっております。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

(4) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

当社及び国内連結子会社は定率法（ただし、建物（建物附属設備を除く）については定額法）を、また、在外連結子会社は主として当該国の会計基準の規定に基づく定額法を採用しています。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|-----------|--------|
| 建物 | 8年～50年 |
| 建物附属設備 | 5年～24年 |
| 工具、器具及び備品 | 3年～15年 |
| 車両運搬具 | 5年 |
| 船舶 | 7年 |

②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づいております。

(5) 引当金の計上基準

ポイント引当金

「BUYMA」サービスの会員に購入以外で付与したポイントの利用による費用負担に備えるため、当事業年度末において将来利用されると見込まれる額を計上しております。

(6) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヵ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(7) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、為替差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めております。

(8) 収益及び費用の計上基準

①BUYMAサービスに係る収益認識

当該事業の主な履行義務は、パーソナルショッパーと呼ばれる出品者がアイテムを紹介・出品し、購入者がこれを購入するマーケットプレイス「BUYMA」のサービス提供であります。また、パーソナルショッパーが注文を受け、買い付け及び発送を行い、購入者が商品を受領した時点で当該履行義務が充足されることから、同時点で取引価格に一定の料率を乗じた手数料を収益として認識しております。

②ポイント制度に係る収益認識

BUYMAサービス会員に購入に伴い付与したポイントを履行義務として識別し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行い、ポイントが使用された時点で収益を認識しております。

(9) ヘッジ会計の方法

①ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約取引については、振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を採用しております。

②ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段は為替予約取引、ヘッジ対象は外貨建予定取引であります。

③ヘッジ方針

内部規程で定めるリスク管理方針に基づき、為替変動リスクをヘッジしております。

④ヘッジ有効性の評価方法

ヘッジ手段の相場変動の累計とヘッジ対象の相場変動の累計を比較し、比率分析する方法によっております。

(10) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、5年間で均等償却することとしております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

※1. 投資有価証券売却益

当社グループが保有する投資有価証券のうち一部を売却したものであります。

※2. 減損損失

当社グループは以下の資産について減損損失を計上しました。

| 場所 | 用途 | 種類 | 減損損失 |
|-------|----|----|----------|
| 東京都港区 | 本社 | 建物 | 29,965千円 |

当社は2024年8月15日開催の取締役会において、業務効率の一環として、本社を移転することを決議いたしました。これにより、将来の使用見込みがない資産について、帳簿価格を回収可能価格まで減額しております。なお、当該資産の減損損失における回収可能額は正味売却価格によって測定しておりますが、移転に伴う原状回復義務により内装等の廃棄が見込まれていたため、ゼロとして評価しております。

※3. 投資有価証券評価損

当社グループが保有する投資有価証券のうち評価額が著しく下落したもののについて、減損処理を実施したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日) |
|---------|--|
| 減価償却費 | 28,024千円 |
| のれんの償却額 | 11,036千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------|--------------|--------------------------------------|
| | Fashion Platform事業 | Travel Platform事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,767,512 | 148,678 | 3,916,190 | — | 3,916,190 |
| セグメント間の内部売上高又 は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,767,512 | 148,678 | 3,916,190 | — | 3,916,190 |
| セグメント利益又は損失(△) | 874,198 | △88,110 | 786,087 | △496,611 | 289,476 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△496,611千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

中間連結会計期間より、経営区分の見直しに伴い、ビジネスモデルの特性や類似性・関連性に基づき、報告セグメントを従来の「ソーシャルコマース事業」の単一セグメントから、「FashionPlatform事業」、「TravelPlatform事業」の2区分に変更しております。

また、当社は、株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）の株式を追加取得し、同社及びその子会社3社並びにその孫会社1社を新たに連結の範囲に含め、「TravelPlatform事業」の報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社は、業務効率向上の一環として本社を移転することといたしました。移転に伴い各報告セグメントに配分していない全社資産において、既存オフィスの固定資産等の減損損失を29,965千円計上しております。なお、当該減損損失は、四半期連結損益計算書において特別損失の減損損失に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間に株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い「TravelPlatform事業」においてのれんが発生しております。

のれんの金額は中間連結会計期間末においては暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定しております。

この結果、のれん220,733千円を計上しております。

なお、当該確定に伴うのれんの金額の修正はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2024年5月20日に行われた株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）との企業結合について中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間にて確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変更はありません。

(収益認識関係)

収益の分解情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---------------|-----------------------|----------------------|-----------|
| | Fashion Platform事業 | Travel Platform事業 | |
| 主たる地域市場／売上高 | | | |
| 日本 | 2,814,215 | 4,154 | 2,818,369 |
| アメリカ | 164,725 | 140,837 | 305,562 |
| 韓国 | 375,745 | — | 375,745 |
| その他 | 412,826 | 3,686 | 416,512 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,767,512 | 148,678 | 3,916,190 |
| その他の収益 | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 3,767,512 | 148,678 | 3,916,190 |

(注) 中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ソーシャルコマース事業」の単一セグメントから、「FashionPlatform事業」、「TravelPlatform事業」の2区分に変更しております。詳細は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(連結子会社による持分の取得)

当社は2024年12月5日、会社法第370条及び当社定款第23条に基づく取締役会の決議に替わる書面決議により、当社の連結子会社である株式会社BUYMA TRAVEL（2024年8月1日付で株式会社MEGURUより商号変更）（以下「BMT社」）が、Formal Trans, LLC（以下「FM社」）の持分を取得し、子会社化（当社の孫会社）することについて決議いたしました。

(1) 持分取得の目的

当社グループは、2024年3月14日に公表した中期売上目標の達成に向けた取り組みを進めております中で、BUYMA事業以外の新たな収益源の構築に注力しており、旅行関連事業を収益の柱の1つとして成長させることを目標としております。

BMT社が運営する2つの海外アクティビティ予約プラットフォーム（BUYMA TRAVEL及びHello Activity）において、これまでも送迎需要が旺盛であった一方で、あくまで成約金額の手数料収入に限定されておりましたが、FM社の孫会社化により送迎機能を内製化することで収益拡大が期待できると考えております。また、孫会社がハワイで運営するダイビング事業においてもこれまではダイビングインストラクターがドライバーも兼務していたために、本業のダイビングに専念することが困難でしたが、今後はダイビングインストラクターとドライバーの分業を進めることでアクティビティ実施頻度の上昇も期待できると考えております。

(2) 持分を取得する会社の名称

| | |
|----------|---------------------------|
| 被取得企業の名称 | Formal Trans, LLC |
| 所在地 | 米国ハワイ州 |
| 事業の内容 | ハワイオアフ島でのリムジン及びハイヤーサービス運営 |

(3) 持分譲渡実行日

2025年2月以降（予定）

※本件契約における前提条件の充足状況により、持分譲渡実行日を決定いたします。また、持分譲渡実行日（予定）が翌連結会計年度になるため、本件による2025年1月期の連結業績に与える影響は軽微であります。なお、本件が2026年1月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であります。

(4) 取得持分割合、取得価額及び取得前後の所有持分の状況

| | |
|----------------|---|
| (1) 異動前の所有持分割合 | 0% |
| (2) 取得持分割合 | 100% |
| (3) 取得価額 | FM社の持分 290万米ドル（435百万円） アドバイザー費用（概算額） 17万米ドル（25百万円） |
| (4) 異動後の所有持分割合 | 100% |

※該当企業の会社形態がLLCのため株式は発行していません。

※表中（）内の日本円表記は、1米ドル=150円で換算しております。